

# 令和3年度 軽米町若者会議 実施結果

## 1. 開催の目的

町では昨年度末、町の将来のまちづくりの指針となる「軽米町総合発展計画 2021-2030」と、人口減少対策に特化した施策とまとめた「第2期軽米町人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。

「軽米町総合発展計画 2021-2030」を策定するにあたっては、軽米町内に住む若い世代のみなさんが参加した「軽米町若者会議」を計2回開催し、計画に意見を取り入れました。

今回は、「第2期軽米町人口ビジョン・総合戦略」の内、①出会い・結婚支援、②情報発信、③移住・定住の3つのテーマを中心に意見をお伺いし、町の取り組みに反映させたいと思います。

## 2. 3つのテーマで意見を伺いたいこと

### 3つのテーマ

テーマ	意見を伺いたいこと
①出会い・結婚支援	<p>○出会い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・若者が集まる場づくりや婚活イベント（どんな内容だと参加しやすい？）</li><li>・恋愛サポート（気軽な恋愛相談などができる場があれば良い？）</li></ul> <p>○結婚</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・結婚支援内容（結婚の障害となっているものは？）</li><li>・結婚相談所（i-サポなど）の利用や町独自のサポートセンターの必要性</li></ul>
②情報発信	<p>○SNS での情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・町の SNS（Facebook、Instagram）の状況（みなさん見ていますか？）</li><li>・他に効果的な情報発信（Youtube などの情報発信はアリ？）</li></ul> <p>○広報などでの情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・広報かるまいやかるまいテレビについて（取り上げてほしい情報は？）</li><li>・他に町の魅力を高める情報発信方法（ハイキューのタペストリーは？）</li></ul>
③移住・定住	<p>○Uターン希望者</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Uターン希望者が必要とする支援（何が必要？資金？家？）</li><li>・効果的な PR 方法（どんな人をターゲットとするべき？）</li></ul> <p>○若者定住</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・軽米高校の地元定着（住み続けたい、また戻ってきたいと思える方法は？）</li><li>・若者が住みたい町づくり（どんな町だと住み続けたいと思うか？）</li></ul>

## 3. 進め方

上記の3つのテーマについて、皆さんが日ごろから感じていること（こんな取り組みがあれば良いな、他の自治体ではこんな取り組みをしているので町でも取り入れたら？）について意見をお出してください。

また、自分たち（町民のみなさん）が町と一緒に取り組みたいことについての意見も大歓迎です。

## 4. 実施結果

### (1) 開催結果

日 時：2021年12月16日（木）18：30～20：00

場 所：軽米町役場会議室

参加者：委 員 9名（鶴飼千春委員、松田雅之委員、上村司委員、田中大祐委員、坂本大輔委員、  
松橋知実委員、池端孝道委員、高橋寿治委員、石村駿弥委員）

事務局4名（梅木勝彦総括課長、日山一則企画担当課長、山下善昭主任、古里結美主事）

進行役2名（一般社団法人いわて地域創景代表理事石川晃、事務局長中村恭香）

### (2) 会議の次第

①開会

②挨拶

③会議

（1）説明

（2）意見交換

④その他

⑤閉会

### (3) 検討結果

テーマ	意見
①出会い・結婚支援	<p>○出会い</p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・商工会主催で「かるコン」を以前開催していたが、このようなイベントが大事である。</li><li>・現在の軽米町の生活は、大人になって感じることだが、仕事を家の往復で、<u>外で交流する場が少ない</u>。お酒を飲める場所も少ない。環境を変えていくことが大事である。<u>人も知らないことが多い</u>。</li><li>・そもそも結婚願望がある人がいるのかという問題もある。</li><li>・軽米は「噂」が一人歩きするような地域である。この「噂」が怖くて、色々な活動や出会いの芽を摘んでいるように思う。</li><li>・婚活イベントというと、硬いイメージとなり、参加者が少なくなるように思う。</li><li>・子どもが元気な地域は地域全体が元気になる地域でもあるお互いに声を変え合う地域が良い。</li></ul> <p>【アイディア】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・婚活イベントなどというネーミングではなく、<u>料理教室など一緒に作業することで仲も良くなるし、婚活ではなくても、互いのことの知る場としても良い</u>。</li><li>・出会いに興味のある方を登録し、その方々に対して情報発信をしても良い。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 軽米だけでは、若い人が限られているので、<u>自治体の枠を超えての活動も良いのではないか</u>。八戸が近いので、八戸圏の人も巻き込んで何かできると面白い。</li> <li>• 何かのイベントやプロジェクトを行う際に、<u>実行委員会のようなプロジェクトチームを立ち上げて、そこに若者が参加することで、出会いや交流の場になっていくと良い</u>。何かを一緒に創り上げることが出会いにつながる。</li> <li>• 同窓会のような企画をもっと行う。</li> </ul> <p>○結婚</p> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• そもそも結婚願望がある人がいるのかという問題もある。職場にも若いスタッフがいるが、結婚に興味がないようにも思う。</li> </ul> <p>【アイディア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>結婚によるメリット</u>をしっかりと知らせる必要がある。町でも補助事業を行っている。</li> <li>• 期間限定での結婚支援メニューがあっても面白い。例えば、ある期間だけの支援メニューがあると結婚へのきっかけになる。</li> <li>• 結婚すると子育ての環境も重要になってくるので、子育て環境を整備する必要もある。</li> <li>• 結婚すると、各種の手続き（住民票、保険など）が必要になるので、そのサポートをするような仕組みがあっても良い。</li> </ul>
②情報発信	<p>○SNS 等での情報発信</p> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 町の SNS の発信が遅いように思う。事後の報告が多く、何かを行う場合には早めに発信するようにしてほしい。</li> <li>• 町の HP にも町の出来事を掲載する写真があるが、重くて開きにくい。</li> </ul> <p>【アイディア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>Youtube や他の SNS ツールを多用し、情報発信を行うべき</u>である。今の時代は、「面白い！」と感じる人がどんな情報に興味を持つかわからないので、あらゆる種類で情報発信を行うべきである。</li> <li>• 地域の元気情報を発信し続ける。</li> <li>• 若者に対して、特典付きの情報発信を行うと面白い。</li> <li>• <u>県外など軽米以外に住んでいる人にも PR をもっと行うべき</u>である。</li> </ul>
③移住・定住	<p>○移住者受入れ・若者定住</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 戻りたくなるようなまちづくりを行う必要がある。</li> <li>• 移住した者としては、周囲の人たちの人間関係に助けられた部分も大きかった。<u>「移住者を受け入れよう」という地域の姿勢が最も大切</u>である。</li> </ul>

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>• 働く場がないことがもっとも大きな課題である。</li><li>• 生活がしにくいという面もある。移動が困難な地域である。</li><li>• 何か新しいことを始めるときに、行動に移すのが難しい地域性がある。</li></ul> <p>【アイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <u>若者が活躍できるような場を用意し、そこに地域の若者や地域外の若者が集まり、何かをやらせてみる</u>も面白い。行政としては、「場の提供」にとどめて、自発的な取り組みを促すような取り組みとする。</li><li>• 若者が居住するシェアハウスやシェアオフィスを用意することも良い。</li><li>• 教育環境を整えて、「軽米の学校に通わせたいから移住したい」という方を呼び込むような仕掛けづくりをする。</li><li>• 町には空き家や廃屋が多くある。所有者の問題もあると思うが、景観的によくないので対応が必要である。</li><li>• SNS を活用して、移住や交流に興味のある若者に PR をもっと行う。</li></ul> |
|---|